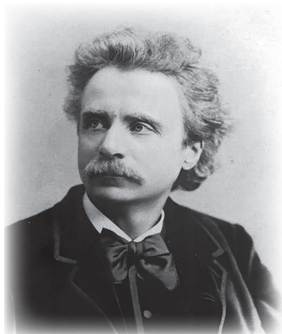


Program Note

エドヴァルド・グリーグ：ホルベルク組曲（ホルベアの時代から）



組曲「ホルベアの時代から」はノルウェーの作曲家エドヴァルド・グリーグさんが1885年に作曲した弦楽合奏曲。もともとはピアノのための独奏曲でしたが、今日ではグリーグ自身が編曲した弦楽合奏版のほうが広く親しまれています。ドイツ語版で「ホルベルク組曲」と呼ばれることも多いです。

ホルベアとは「デンマーク文学の父」とも呼ばれる、18世紀に活躍したノルウェーの作家のことで、ホルベア生誕200周年となる1884年、記念祭のために作曲されました。

凛としたお鼻が素敵で、まるで神様のようなホルベアさんに、こんなにもお目目がキュートで、イケメンなグリーグさんが贈呈した曲ですから、聴くまでもなくファンタスティックなわけです。

バロック様式の自由で華やかな組曲、第1曲から第5曲まであります。(5曲全部終わってから拍手を！)華やかな前奏曲で始まり、穏やかで哀愁漂うサラバンド、古風な踊りのガヴォットとミュゼット、繊細で美しいアリア、イケイケなりゴドン。弦楽合奏の魅力がギッシリ詰まっていて、様々なキャラクターが登場して…本当にイケメンな曲です。きっとそこのあなたもワクワクしてしまうこと間違いなし！

(by Azusa Kataoka)



ロベルト・モリネッリ：ニューヨークからの4枚の絵

第一楽章：夜明け

第二楽章：タンゴ・クラブ

第三楽章：センチメンタル・イブニング

第四楽章：ブロードウェイ・ナイト

駅前の噴水、阪神電車、アルカイックホール、でお馴染みの尼崎から今日は世界に飛び立つ。アメリカ最大の都市、ニューヨークへようこそ。マンハッタンの超高層ビルの数々、眩い夜景、それらに酔いしれる若いカップル。ここニューヨークには様々な風景が見える。静寂からいよいよ街が動き出す夜明け、クラブでは若者が踊り狂い、道はずした者は憂鬱な面持ちで午後を過ごす。しかしここニューヨークはそれら全てがミュージカル。ブロードウェイのように最後は皆ハッピー。そんなアメリカンドリームを楽しもう。

さて、役者を紹介しよう。クラブといえば、やはり荒くれ者のサクソとピアノ。そしてバックを支えるのは弦楽器達。共同作業でニューヨークの4つの風景を表現していきます。



(by Satoshi Fujimura)